

## 医動物・種類同定検査結果(令和元年7月～9月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

令和元年7月から9月の3か月間の、種類同定検査件数は、昆虫類1件(ハチ目)、その他の節足動物2件(クモ目1件、ダニ目1件)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
就寝中にアリに体の上を這われた。 (7月)	 働きアリ、褐色、3mm	オオズアリ (ハチ目)	裸地、林内に生息し、大きなコロニーを形成する。基本的に土中営巣性であるが、その場合でも石下、倒木下、塀や壁ぎわを好む。朽木中に営巣することもある。成虫はアブラムシの甘露や花蜜を好む。幼虫の餌は、昆虫類などである。
アパート玄関の電灯下のガス給湯器にクモが巣を作っていた。 (7月)	 成虫、黒褐色、雌25mm、雄13mm	オニグモ (クモ目)	家の軒下や周囲の樹間で普通にみられる大型のクモ。夜間垂直円網を張り、昼間は物陰に潜む。日本全土に分布する。
就寝時に何かに刺されているようで、かゆみがある。 (5月)	 チリダニ類 成虫、赤褐色、0.2～0.3mm  ツメダニ類 成虫、赤褐色、0.4mm	チリダニ類、ツメダニ類 (ダニ目)	チリダニ類はカーペット、ふとん、畳などの室内塵からごく普通にみいだされる。ヒトを刺咬することはない。  ツメダニ類は、自由生活性で、室内では室内塵中のチリダニ、コナダニ類を捕食する。刺咬されると痒みを伴った皮疹が起こる。